

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要

学校名	米沢市立第五中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊・分校	計	教員数
学級数	3	3	3	2	11	23
生徒数	100	109	116	4	329	

研究の概要

1. 研究主題

一人ひとりに確かな学力をつける教科指導

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全教科

ただし少人数指導は全学年の英語・数学、TT指導は第1学年社会科で実施した。(基礎学力を充実させる観点から教科を選定した。また TT指導は初期指導の重要性から第1学年とした。)

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせる教科指導のあり方の研究</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な授業仮説に基づいた研究授業</li> <li>・少人数指導・TT指導の導入と修正</li> <li>・多様な選択教科の開設と指導体制の整備</li> <li>・各教科の評価規準及び基準の設定</li> </ul>
平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせる教科指導の推進</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導・TT指導の効果的な進め方の研究</li> <li>・補足的、発展的に個に対応のできる選択教科の進め方の研究</li> <li>・個々の学力を伸ばす評価法の研究</li> </ul>
平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせる教科指導の確立</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細やかに個に応じる少人数指導・TT指導の確立</li> <li>・必修教科と補完のできる選択教科の確立</li> <li>・個々の学力を高める評価システムの確立</li> </ul>

(3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

### 1. 研究の成果

研究推進体制が整理され円滑に機能した。指導形態の工夫や教材開発を中心とした授業実践と評価に関する検討が、研究の両輪として意識され研究が進んだ。

「考える力と授業の創意工夫」をテーマに学区内にある米沢女子短期大学から、学長の澤井先生をお招きして御講演頂き、来年度の研究にさまざまな示唆を得た。

少人数指導・TT指導の効果的な進め方の研究について

<少人数指導>

- ・ 教師が生徒一人一人に関わる回数が増え、英語での話す力の育成や数学の基礎的な学習において効果が確認された。
- ・ 習熟度別クラス編成が実施でき、特に基礎コースの生徒で、内容の定着が顕著に高まった。
- ・ 単元構成の工夫によって、評価基準を合わせながら、生徒の実態や要求に対応した進度にしたり内容に軽重をつけることで、個に対応する指導ができた。

<TT指導>

- ・ 机間指導の区域分担や調べ学習時のメディア(図書・PCなど)による指導分担、デモンストレーションや評価時のサポートの場面で、TT指導の効果が確認された。
- ・ 授業の中で評価しながら指導内容を変更し、深化させる内容に進んだり、繰り返し指導するような、生徒の実態に即した指導が可能になった。

補充的、発展的に個に対応のできる選択教科の進め方の研究について

- ・ 主に五教科で補充的な題材技能教科で発展的な題材を開発し、生徒の興味関心に対応した。
- ・ 「補充」と「発展」のとらえ方について議論を深めることができた。その教科を選択した生徒の実態を把握した上で、何を補充する必要があるのか見定め、指導計画を立てることが必要であると考えられた。

個々の学力を伸ばす評価法の研究について

- ・ 評価基準と評価方法、評価の場面を指導計画に位置づけ、実践を通して検討、改善を行うことができた。
- ・ 評価の研究を通して目標が明確になり、指導法に工夫が加わるなど授業が改善された。

## 2. 今後の課題

少人数指導・TT指導の効果的な進め方の研究について

<少人数指導>

- ・ 習熟度別クラスによる指導の在り方について、さらに検討を工夫を行う。

<TT指導>

- ・ TT指導では授業の場面場面でしか効果が確認できなかった。TT指導を前提とした単元構成をさらに工夫していく。
- ・ 昨年度からの課題であった打ち合わせの不十分さには、やはり時間的な面で改善されなかった。むしろそれを補うために、役割分担に関わるマニュアルをある程度つくっておくことが必要と思われる。

補充的、発展的に個に対応のできる選択教科の進め方の研究について

- ・ 技能教科では教師の専門性を生かした魅力ある題材を設定し、生徒の可能性を引き出すことにねらいを置いた指導を展開する。

個々の学力を伸ばす評価法の研究について

- ・ 実践の積み上げによる、指導計画（評価基準と方法、場面）の改善を行う。

### 学力等把握のための学校としての取組

- ・ 定期的な学力調査の実施（年2回）

3月に実施の学力調査によって本年度の成果をより客観的に評価できると考えている。

### フロンティスクールとしての研究成果の普及

- ・ 授業研究会を開催する際は市内全中学校と学区内小学校に案内し、授業と研究を公開した。補充的・発展的に個に対応する選択教科の授業について、高い関心をもって頂き、問い合わせを多く頂いた。
- ・ フロントリア事業地区別協議会、学力向上研修会、教育研究発表会で成果を発表した。
- ・ 研究集録「五中の教育」を2月に発行し、市内全中学校に配布する予定である。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |   |  |  |   |
|----------------------|---|--|--|---|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                                | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 |  |   |
| 【学校規模】               | 3学級以下                                     | 4～6学級  |  |   |
|                      | 7～9学級                                     | <input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級    |  |   |
|                      | 13～15学級                                   | 16学級以上   |  |   |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導   |  |   |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> その他   |  |  |   |
| 【研究教科】               | <input checked="" type="checkbox"/> 国語    | <input checked="" type="checkbox"/> 社会         | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科    |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語   | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽         | <input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 保健体育  | その他  |  |   |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |   | <input checked="" type="checkbox"/> 有          | 無                                      |   |